



**基本
理念**

高度で良質な医療を提供し、病む人々が安心し、信頼できる病院をめざします

新年度挨拶 (兼院長就任のご挨拶)

院長 吉住 秀之

過去から学び、今日のために生き、未来に対して希望をもつ。

大切なことは、何も疑問を持たない状態に陥らないことである。

(アインシュタイン)

令和元年3月末を以て退任されました冷牟田浩司先生の後任として、4月1日より都城医療センターの院長を拝命しました。前任地の九州医療センターから副院長として2年前に当院に異動し、このたび重責を担うこととなり身の引き締まる思いに加え、折からのコロナウイルスの世界的流行という厄災の中での船出となり、心安からぬ思いです。前院長が掲げた病院理念を引き継ぎ、当院が果たしている地域周産期母子医療センターと地域がん診療連携拠点病院としての機能を維持・発展させるとともに、今後のさらなる高齢化に対応すべく包括ケア病床を運営し、地域に密着した診療ネットワークの要となれるように努めてまいりたいと思います。

厳しさを増す医療環境に加えてコロナウイルスの世界的流行という逆境の中に置かれていますが、だからこそ、私たち医療人は「希望(HOPE)」を持って職務にあたりたいと思います。

HOPEの一文字ごとに秘める気持ちをここで述べ、年度初めの所感としたいと思います。

- 1) **Honest** 誠実であること。患者はもちろん職場の人間関係でもお互いに誠実であり、規則に対しても誠実に遵守することは、医療人として大切なことです。互いを尊重しあい、感謝をもって接することができる環境作りに取り組みたいと思います。

- 2) **Open** 開かれた心をもつこと。自分も含め人は、知らないことは心を鎖し、苦手な相手には目をつむりがちになりますが、そういうことに対しても心を開けて、対話できるようにする。そして問われたときには自らの考えをきちんと説明できるようにしていきたいと思います。



- 3) **Positive** 前向きであること。起こしてしまったこと、過ぎてしまったことは、嘆いたところで何も生まれません。またどうせ変わらないという無気力は活力を削ぐ病です。失敗があったとしてもそれを糧にして改善し、未来にはそれ以上の稔りを手にするという積極的な姿勢で何事にも向かっていきたいと思います。

- 4) **Enjoy** 楽しむこと。つらく苦しい事も多々ありますが、私たち専門職は自らの技能を磨き、社会で活かすことに楽しみを見いだせる職業でもあります。働くだけでなく勤しむことで、より高いところを目指すことで楽しみ、仕事が終われば自分の自由時間を十分に楽しむことができれば、よい治療を患者に還元し、患者の皆さんに楽しみと安楽を提供できると信じます。

最後になりましたが、地域の医療を担われている皆様並びに医師を派遣していただいている関連大学の諸先生、保健所を初め厚生行政に関わる皆様からのご指導やご支援がなければ、当院の機能を十分に発揮することはできません。これからも忌憚なきご意見とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

退任のご挨拶



氏名：冷牟田 浩司

春爛漫の候、皆様がこの拙文に目をお通しになるころに新型コロナウイルス終息のめどはついていないでしょうか。人類の歴史は感染症との闘いの歴史でした。人類の英知がこの戦いに勝利することを願いながら、この退任のご挨拶をしたためています。

定年延長期間が終了し、3月31日付けで都城医療センターを退任いたします。最後の31日まで業務が残ります。慌ただしく残務を行いながら、当地での生活について徒然に感じたことを述べさせていただきます。

2016年7月の赴任から3年9か月でした。アツという間の日々でした。急遽の赴任で右往左往し続けましたが、病院職員の皆さん、地域の皆様、関係各位の皆さんに温かく支えていただいたおかげで、何とか退任の日を迎えることができたと思っています。まず、今このページに目を落とされておられるすべての皆様に賜りましたご厚情に深甚なる感謝と敬意を申し上げます。大変お世話になりました。

かつて都城への赴任を告げられた時、「知らないところに赴任するのは何かと心配だろうけど、何かの縁だよ。行ってみないか。」という先輩の言葉を聞きながら、「いや、違うんです、都城といえはあそこじゃないか、縁は大いにあるんです。」そんな風に心の中で思ったものです。私は幼少時、北九州の炭鉱町で育ちましたが、ひょんなことで高校時代を鹿児島で過ごしました。部活はラグビー部に所属しました（何か所も骨折したものですから、途中で断念・退部しました）。今でこそ鹿児島市内の強豪チームと対等な試合ができるようになっていますが、当時は全くの弱小チームで勝負にならないので、日帰りで行ける距離の高校で胸を貸してくれるチームを探し回りました。都城市内の某高校に快諾いただいていたので遠征することになって何度も都城市を訪れました。相変わらず完敗ばかりでしたが、いつも試合後に女子のマネージャーが配ってくれた牛乳が旨かったことを不謹慎にも思い出し、そんな思い出がボンと私の背中を押してくれて、「お受けします!」。まさしく縁は奇なり。私を都城に誘ってくれた思い出、相手してくれた某高校のラグビー部の皆さん、優しい町を歩くご年配の皆さん、そして旨かった牛乳、私を都城に呼んでくれたすべての思い出に感謝です。

時折しも、日本の社会構造が変わろうとする時でした。少子高齢化、2025年問題、医師偏在是正、働き方改革と医療の世界でも難題ばかりです。波濤の中で揺れ動く小舟のように地方の中規模急性期病院の在り方も大きな変換期でした。施行錯誤の日々が続きましたが、そのような時だからこそ、私が肝に銘じて忘れないようにしてきたことがいくつかあります。福岡に移っても変えません。

その1：誇り・絆です。日本はこれから未曾有の少子・高齢化に対峙していかなばなりません。2025年目標の地域医療包括システムでは高度急性期医療から介護・在宅医療まで幅広い包括医療が連続的に展開されなければなりません。都城のような地域だからこそ、施設間の絆が大事なことをつくづく感じました。都城医療センターだからこそ、院内の専門職種間の強い絆・チームワークができました。都城医療センター職員としての誇り・強い絆です。都城を離れても忘れないようにしたいと思います。

その2：医師になって求め続けたこれまでの自分の歩みは、司馬遼太郎の坂の上の雲と同じだと思っています。40年以上右往左往しながらも上り続けた医師として登ってきた坂です。都城医療センターを離れても、都城医療センタースピリッツを忘れず、揺るがぬ志をもって、歩みを緩めず、先に見える一朵の白い雲を追いつけて坂を上ってゆきたいと思います。

改めまして3年9か月、皆様のご厚情に感謝申し上げます。次世代の都城医療センターを引き続きよろしく願います。

最後に皆さまのご健勝を心から祈念申し上げ、退任のご挨拶とさせていただきます。

ごきげんよう。



副院長就任のご挨拶



氏名：駒田 直人

役職：副院長

着任にあたっての抱負：令和2年4月1日付けで副院長を拝命いたしました。平成10年4月当院が国立都城病院の名称であった時代に大学病院より私としては初の院外派遣にて約3年間勤務をさせて頂きましたが、ご縁があり平成27年より再びお世話になっています。この時すでに病棟はすっかり新しく変わっていましたが、最初着任した当時一緒に仕事をしていたメンバーが当時のまま全然変わっておらず、再会した時は懐かしく思わず涙腺が緩んでしまいました。都城も早や22年目を迎え、思い返せば人生の中で最も長く過ごした地となりましたが、この間私たち医療従事者を取り巻く環境は昨今の働き方改革をはじめ目まぐるしく変化してきました。個人的にもこれまでは消化器内科医として患者さんにすべてを費やすれば良かったのですが、これからは当院の全職員が安心してそして誇りと喜びをもって働けるよう、また病院が地域の中核病院としてさらに発展を遂げることが出来るよう微力ながら院長先生をサポートし頑張りたいと思いますので、みなさま何卒宜しくお願い申し上げます。

退任のご挨拶

氏名：田中 洋

勤務部署：外科

異動にあたってのご挨拶：気づけば3年間の勤務となりました。多くの病院スタッフに支えられ多くの患者さんの診療に携わることができました。都城は、患者さん、そのご家族のご理解もあり多くの経験をすることができました。私は都城を去りますが、都城医療センターで勤務される職員の方々が、より都城の医療に貢献されますことをお願いいたします。本当にお世話になりました。

氏名：宮内 孝浩

勤務部署：循環器内科医長

異動にあたってのご挨拶：1年間ありがとうございました。短い間でしたが、いろいろと勉強させていただきました。末筆ながら皆様のご健康をお祈りし異動のご挨拶とさせていただきます。

氏名：岩佐 一真

勤務部署：整形外科

異動にあたってのご挨拶：1年間勤めさせていただきました。短い間でしたが吉川先生、黒木先生、吉留先生、他科の先生方、看護師・リハビリの先生方、その他のスタッフの方々のおかげでたくさんの貴重な症例や経験を積むことができました。本当に感謝しています。ありがとうございました。

氏名：杉原 栄孝

勤務部署：外科

異動にあたってのご挨拶：3年間大変お世話になりました。西日本病院に転勤します。熊本にお越しの際には御一報下さい。

氏名：光浦 智証

勤務部署：外科

異動にあたってのご挨拶：1年という短い期間ではありましたが、大変有意義で濃厚な経験をさせていただきました。この経験を旨に、今後も精進していきたいと思えます。ご迷惑をおかけすることも多々ありましたが、上司、同期の先生方、病棟・外来スタッフ、そして患者さん一人一人にこの場をお借りして感謝申し上げます。

氏名：上村 康介

勤務部署：泌尿器科

異動にあたってのご挨拶：一年間という短い期間でしたがありがとうございました。次の勤務先でもここでの経験を生かして精進します。

氏名：柳田 和憲

勤務部署：事務部長

異動にあたってのご挨拶：この2年間、皆様には大変お世話になり感謝いたします。冷牟田院長先生はじめ幹部の先生方のご理解の下、我が都城医療センターのために少し頑張れた気がします。次は九州がんセンターが我が病院となりますが、また新たな気持ちで精一杯頑張りたいと思います。

氏名：澤田 修

勤務部署：麻酔科

異動にあたってのご挨拶：1年間ありがとうございました。1年の間には色々なことがありましたが、手術部の優秀なスタッフに支えていただき、貴重な経験となりました。都城医療センターで働けたことを誇りに、これからも頑張っていきたいと思います。

氏名：北島 久義

勤務部署：薬剤部長

異動にあたってのご挨拶：この3月を持ちまして、退職することとなりました。最後の2年間で都城医療センターで勤務させていただき、無事終わる事ができましたのも皆様方の温かいご支援のおかげと感謝しております。誠にありがとうございました。

氏名：赤星 誠美

勤務部署：看護部長

異動にあたってのご挨拶：在職中は、地域包括ケア病棟の開設、病院機能評価受審等に携わらせて頂きました。目標に向かって職員が一丸となって取り組む姿から、都城医療センターの底力を感じました。この3年間は、多くの方々のご支援を頂き、大変感謝しております。都城医療センター益々の発展を心からお祈りしております。

就任のご挨拶



氏名：濱田 浩朗

勤務部署：整形外科医長・リウマチセンター長
自己PR：日本整形外科学会専門医・指導医、
日本リウマチ学会専門医・指導医、
日本リハビリテーション学会専門医・臨床認定医
日本体育協会認定スポーツ医
着任にあたっての抱負：あらゆる関節病を専門
としております。専門分野を通じて貢献でき
ればと思っています。



氏名：小森 宏之

勤務部署：外科医長、教育・研修部長
趣味・特技：ラグビー、絵、サイクリング、
模型づくり
自己PR：どの施設においてもムードメー
カー役になっていました。
着任にあたっての抱負：ムードメーカー以
上の仕事をしたいです。



氏名：大淵 昂

勤務部署：外科医師
趣味・特技：野球、靴磨き
自己PR：体力・気力
着任にあたっての抱負：精一杯頑張りま
す。ご指導よろしくお願いします。



氏名：佐藤 寛紀

勤務部署：外科医師
趣味・特技：バスケットボール、レイアップ
自己PR：習字を習っていたせいか几帳面
かもしれません。
着任にあたっての抱負：2ヶ月のみと短い期
間ではありますが精一杯がんばります。



氏名：川原 一朗

勤務部署：泌尿器科医師
着任にあたっての抱負：初めまして。都城
に4月に赴任した川原です。都城の医療
に貢献できるようにがんばります。よろ
しくお願い致します。



氏名：富永 充彦

勤務部署：泌尿器科医師
趣味・特技：映画鑑賞、ゴルフ
着任にあたっての抱負：今年は手術、救急
がんばります。



氏名：内村 修二

勤務部署：麻酔科医師
趣味・特技：マラソン
自己PR：麻酔科医になって10年目になり
ます。
着任にあたっての抱負：皆さんに安心しても
らえる麻酔がかけられるよう頑張ります。



氏名：宇都 加寿子

勤務部署：呼吸器内科医師
着任にあたっての抱負：呼吸器内科の宇
都加寿子です。都城地域の役に立てる
よう頑張ります。
宜しくお願い致します。



氏名：猿渡 英美

勤務部署：耳鼻咽喉科医師
着任にあたっての抱負：3月からお世話に
なっております。至らない点多々ある
かと思いますが、ご指導の程よろしくお
願いいたします。



氏名：村上 和明

勤務部署：事務部長
着任にあたっての抱負：4月1日付で九州グ
ループから異動となりました村上です。
都城医療センターのために微力なが
ら頑張りますのでどうぞよろしくお願い
致します。



氏名：井上 光子

勤務部署：看護部長
着任にあたっての抱負：この度、熊本再春
医療センターから昇任で参りました井
上と申します。
地域の中で当院の役割が果たせるよ
う頑張っていきたいと思いますので、ど
うぞよろしくお願い致します。



氏名：佐多 卓也

勤務部署：薬剤部長
着任にあたっての抱負：平成9年、平成22
年と今回で3度目の都城となります。以
前と比べて新しくなった病院で心機一
転頑張りますのでよろしくお願いしま
す。



氏名：赤尾 綾子

勤務部署：外来師長
着任にあたっての抱負：鹿児島医療セン
ターから昇任で参りました。初めての県
外勤務になります。
外来勤務ですのでフットワーク良く
頑張りたいと思います。



氏名：児玉 久美

勤務部署：新生児師長
着任にあたっての抱負：別府医療センター
より異動になり、地元の宮崎に戻ってま
いりました。
早く新しい環境に慣れていきたいと
思います。よろしくお願い致します。

病院機能評価合格のご報告

病院機能評価を受審して

院長 吉住 秀之

「人間は、目標を追い求める生き物だ。目標に向かい努力することによってのみ、人生が意味あるものとなる」(アリストテレス)

当院は、令和元年12月10、11日の二日間5年ぶりに病院機能評価の受審を受けました。昨年初めには、この年が病院機能評価受審の年になるので、令和元年の大きな目標になるという院長のかけ声のもと、前回の受審結果を精査し、各部署の職員が改善を積み重ねての受審でした。いわゆる受験対策として症例プレゼンテーションの練習などもありましたが、何より自院の機能がどれだけ患者や地域のために果たしているかということ客観的に把握し、改善をできたという点で得るものが大であったイベントでした。受審直前の時期は、ちょうどラグビーワールドカップで日本チームが快進撃を重ねていたこともあり、「ワンチーム」という合い言葉があちらこちらで聞かれ、病院一丸となれたこともうれしいことでした。病院職員の奮闘のおかげで、S評価は、5項目(前回4)、A評価は82項目(前回69)と増やすことができ、B評価は2(前回14)と減らすことができました。オリンピックの金銀銅のメダルの獲得数ではありませんが、合格するだけでなく前回より

も高評価を以て合格できたこともうれしいことでした。今後は貴重な時間を割いて細やかな評価とアドバイスをいただいた審査委員の諸先生のご指摘を受けて、さらに当院に磨きをかけていくことです。その意味で、もう日々の機能評価は始まっているのです。

最後になりましたが、忙しい業務の中、ご尽力いただいたすべてのスタッフの皆さんに深謝いたします。



副看護部長 後藤 祥子

令和元年度は、まさに病院機能評価一色の一年でした。

冷牟田院長のリーダーシップのもと、全職員一丸となって領域別に繰り返される課題抽出と対策への取り組み。中でもケアプロセス調査に向けた症例トレースの特訓?は、たっぷり時間をかけ、奮闘の日々でした。自前の模擬サバイヤーから次々と質問が投げかけられ、選択した症例について、主治医、担当看護師など多職種でプレゼンテーションを行いました。症例患者に対する思いと医療従事者として懸命に対応してきた経過を知り、改めて都城医療センターの職員としての誇りを感じることができました。

さあ、いよいよ受審当日。やるだけのことはやった!との思いで臨みました。「M」マニュアルはどのタイミングで出すの?と真剣に尋ねてきた〇〇先生。部署訪問で自信をもってアピールされた〇〇先生。「私の病棟の誇れるところは〇〇です」と完璧に答えた看護師長。あげればキリがありません。私はささやき副看護部長としてケアプロセスの会場にあり、皆が一丸となって取り組んでいることを肌で実感し嬉しく思いました。

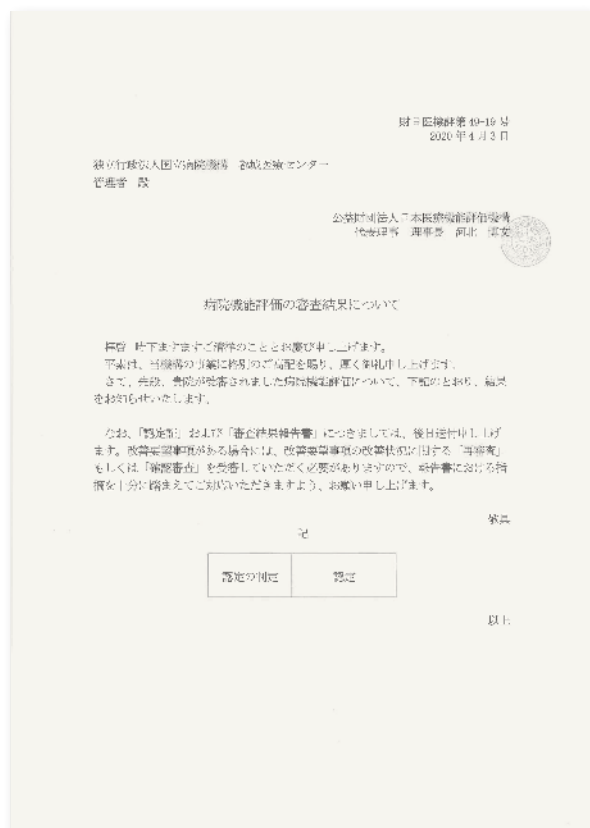
今後も認定病院として恥じないよう、改善を続けて邁進していきたいと思います。この度の病院職員の皆様のご協力に深く感謝いたします。ありがとうございました。



副薬剤部長 津曲 恭一

病院機能評価認定の結果を受けてホッとしています。薬剤部は平成27年にB判定だった2項目(「2.1.5 薬剤の安全な使用に向けた対策を実践している」「3.1.1 薬剤管理機能を適切に発揮している」)のA判定を目標に取り組んでまいりました。

結果は「3.1.1」がA判定、「2.1.5」はB判定でしたが、課題として指摘された内容は運用の見直しにより改善可能と思われました。「3.1.1」は、これまで薬剤部が特に力を入れて取り組んできた疑義照会とプレアボイド報告ならびに抗菌薬の適正使用等の



業務を評価して頂いた点を嬉しく思っております。

薬剤が関連したインシデントは薬剤部だけの取り組みでは困難な事が多いのですが、幸いにも当院では多くの部署のご協力を頂けている事が、医療の質向上に繋がっていると考えています。最後にご指導頂いた冷牟田院長先生をはじめ、ご協力頂いたすべてのスタッフの方々に感謝申し上げます。

● ● ● ● ● ● ● ●
画像診断センター 副診療放射線技師長
築城 聖二

病院機能評価受審を受け画像診断センターにて取り組んだことはチーム医療における組織強化でした。一年前よりプロジェクトを立ち上げ、技師長を中心とした役割分担を行い各種運用マニュアルなどの見直しを実行しました。今回の取り組みによって安心安全な検査体制の確保をいかに構築すればよいかを学べました。さらに他部門との連携を深める機会が増え、各スタッフも成長する良いきっかけになりました。

今後はこれら活動を継続しさらにレベルアップしていけるようにスタッフ一同努力していきたいと思っています。

● ● ● ● ● ● ● ●
検査技師長 **松本 恵美子**

病院機能評価受審決定に伴い、まず各作業手順書や機器管理手順書の見直しを行いました。文書形式を整え、全てに文書に番号をつけて棚保管と電子媒体での閲覧ができるようにし、かゆい所に手が届くようなSOPを作ろうとの意思を伝え、省令施行に伴う整備を終えたばかりでしたが検査部スタッフ全員で着手し、2年連続でかなりの労力を費やしてもらいました。また電話の取り扱いや清潔・不潔・準清潔のゾーン分けおよび環境整備にも着手し、事務の皆様にも物品購入など尽力いただきました。さらに、チームで協力し輸血療法マニュアルも第一版が完成。血液型確定手順、コンピュータ・クロスマッチ導入に関してサーベイヤから「いいシステム、運用ですね」といわれました。受審時に各質問にきちんと対応したスタッフに感謝しています。今後、スタッフ全員で取組んだことを生かし、定期的な確認と品質が担保できるよう改善を繰り返していきたいと思っています。

● ● ● ● ● ● ● ●
栄養管理室長 **宮永 朋子**

病院機能評価受審では、他部門との連携強化に取り組ましました。病棟を中心としたケアプロセスの準備においては、改めて栄養管理の重要性を認識し、部門内で情報交換・共有する機会となりました。受審の中では、NST症例に対し中山産婦人科医師も説明に加わってくださり、乗り切ることができたと感じています。給食部門は委託していますが、連携

をとりながら衛生管理の徹底、フードサービスの充実に継続して取り組んでいることをアピールできました。今後もこれらの体制を保ち、日々の業務の質向上を図っていききたいと思います。

● ● ● ● ● ● ● ●
理学療法士長 **仮上 透**

真っ先に取り組んだことは、処方箋の受理から計画書の作成、リハビリテーションの提供、記録までの一連の流れを正常なものにすることでした。吉川先生のご指導の下、病棟師長と共にフローチャートを作成し、良いものが出来上がりました。また他職種との連携を重視する面では、各病棟のカンファレンスに積極的に参加し情報共有に力を入れました。途中でスタッフの欠員がありましたが、残されたスタッフで力を合わせ「ピンチはチャンス」を合い言葉に、この難局を乗り越えることができました。今回の機能評価受審によって得たチーム力で、今後の更なる発展に取り組んでいきたいと思っています。

● ● ● ● ● ● ● ●
医療安全管理部 副部長 **北野 喜恵**

病院機能評価受審のキックオフ宣言から受審まであっという間でした。

私は、都城医療センターで手術室師長として5年前に受審、今回は医療安全管理部として受審することになりました。自部署だけでなく、病院全体組織横断的に関わることができるか自信はありませんでした。しかし、「わからないこと」「判断に困ること」は、吉住副院長のところへ足繁く通い、1つ1つ問題解決していきました。

また、セーフティマネジメント部会メンバー、看護部医療安全メンバーの方々の協力で、医療安全管理マニュアルの見直し、改訂も実施することができました。まさにワンチームで乗り越えられました。今後は、みんなで見直し、改訂したマニュアルをどんどん活用していきたいと思っています。

● ● ● ● ● ● ● ●
感染制御部 副部長 **福丸 和也**

私自身、感染管理の担当者として受審する初めての病院機能評価でした。準備期間は、不安やプレッシャーもありましたが、サーベイヤの評価のためでなく、患者さんや働く職員の目線に立った感染対策が、実施できているかという視点で見つめなおす貴重な機会となりました。また、多くの部門、人と連携し協力することの大切さに改めて気づくことができたことは大きな学びでした。

昨今の感染症の流行や薬剤耐性菌対策など、今後も感染対策が安全な医療の提供のためには非常に重要になります。この受審を通じた学び、経験を活かし、患者さんや職員のための感染管理を、さらにレベルアップできるように努めていきたいと思っています。

「第71回卒業証書授与」・「第74回入学許可」

この度、看護学校では新型コロナウイルスの感染拡大により式典を中止し、「卒業証書授与」と「入学許可」を肅々と執り行いました。

卒業生 39 名は患者の皆様や病院関係者の皆様、講師の先生方に多大なるご支援を承り、感謝の気持ちを胸に学び舎を巣立っていきました。また、新入生 40 名は学校長より入学許可を受け、新たな学校生活を開始いたしました。

本年度も新入生を含め、看護学生の教育に関する皆様のご理解やご協力をよろしくお願い申し上げます。以下は、卒業生の答辞と新入生の誓いの言葉について、一部掲載させていただきます。

第71回 卒業証書授与 令和2年3月2日(月)

今日に至るまでの三年間は一瞬のようでもあり、とても長い時間だったようにも思います。三年前、看護師になるという夢に一步近づいたことに喜びを感じる一方で、これから始まる三年間に漠然とした大きな不安を抱きながらこの地を訪れたことを、今でも覚えています。

初めての病棟実習では、看護師の働く姿に憧れを感じつつ、自分は看護師に向いているのかと自問することもありました。しかし、ぎこちない援助にも笑顔で接して下さる患者さんに励まされ、「患者さんに喜んでいただけるような援助ができるようになりたい」と決意することができました。

私たちは今日、晴れて卒業の日を迎えることとなりましたが、この日を迎えることができたのは、講師の皆様、病院職員・教職員の皆様、家族の存在があってこそだと思います。皆様からいただいたお言葉やこれまでの教え、三年間の学びと思い出を胸にそれぞれの目指す看護師像に向かい、努力を惜しまず精進してまいります。

(卒業生代表 小向井 久乃)



第74回 入学許可 令和2年4月7日(火)

花々の香りに包まれ、春風が心地よい今日のよき日に、私たち七十四回生四十名は、独立行政法人国立病院機構都城医療センター附属看護学校に入学を許可して頂きました。

本日は、私たち新入生のためにこのような場を設けて頂き御礼申し上げます。

私たちは今、新しい仲間とともに学ぶことへの期待と不安で胸がいっぱいです。

変化の目まぐるしい時代、医療現場においても新しく高度な技術が要求されます。

そのため私たちは常に学び続ける向上心を持ち、患者さんと真摯に向き合い、心の支になるための豊かな人間性を培っていききたいと思います。

これからの3年間、伝統あるこの学校で仲間と切磋琢磨し、精一杯努力することを誓います。

(新入生代表 梅北 知里)



外来診療科別週間担当医当番表

独立行政法人
国立病院機構 都城医療センター

【全診療科 初診予約制】受付時間 8:30 ~ 11:00

【2020年4月3日】

診療科名等		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
内科 ^{※2}	初診	血液 肝	前田 宏一		佐藤 誠一	
	再診	加藤 順也				
		前田 宏一 佐藤 誠一	加藤 順也 藤 誠一	前田 宏一 藤 誠一	前田 宏一 藤 誠一	前田 宏一 藤 誠一
循環器内科	一般	宮内 孝浩				
	特殊		心筋症外来 (午後)			
呼吸器内科	初診	今津 善史 宇都 加寿子	今津 善史 宇都 加寿子	今津 善史 宇都 加寿子	今津 善史 宇都 加寿子	今津 善史 宇都 加寿子
	再診					
呼吸器外科	初診	手術日	巻 幡 聰 加藤 文 章	手術日	巻 幡 聰 加藤 文 章	手術日
	再診					
小児科	午前	1 診 1 診	内村 絵美 柳 邊 秀一	入佐 浩史 下田 貴史	下田 貴史 入佐 浩史	裴 孝 竣 柳 邊 秀一
	午後	2 診 3 診	入佐 浩史 裴 孝 竣	裴 孝 竣 シナジス外来 (8月~3月)	内村 絵美 裴 孝 竣	下田 貴史 裴 孝 竣
		初診	小森 宏之 緒方 健一	小森 宏之 大淵 昂	手術日	緒方 健一 緒方 健一
		再診	小森 宏之 緒方 健一	大淵 昂 乳腺(緒方健一)	手術日	緒方 健一 緒方 健一
消化器病センター	初診	藤原 利成	駒田 直人 駒田 直人	内視鏡検査・治療	駒田 直人 駒田 直人	駒田 直人 駒田 直人
	再診					
	内視鏡	駒田 直人				藤原 利成
N S T 外来			駒田 直人 (第二、四火曜日 14:00~16:00)			
整形外科	初診		吉川 教恵 吉 留 綾	手術日	吉 留 綾	吉川 教恵
	再診	吉川 教恵	吉 留 綾			吉川 教恵
	特殊検査	骨粗鬆症検査	骨粗鬆症検査	骨粗鬆症検査	骨粗鬆症検査	骨粗鬆症検査
リウマチ科 ^{※2}	初診	濱田 浩朗 吉川 教恵	吉川 教恵	手術日	濱田 浩朗	濱田 浩朗
	再診					
泌尿器科	1 診		山崎 丈嗣	山崎 丈嗣	慶田 喜文	山崎 丈嗣
	2 診	手術日		慶田 喜文		慶田 喜文
皮膚科			中山 文子 (9:30~13:00)		中山 文子 (9:30~13:00)	中山 文子 (9:30~13:00)
産婦人科	初診	徳永 修一	古田 賢	徳永 修一	古田 賢	古田 賢
	再診		徳永 修一	古田 賢	古田 賢	古田 賢
耳鼻咽喉科	一般	外山 勝浩 猿渡 英美	外山 勝浩 猿渡 英美	外山 勝浩 猿渡 英美	外山 勝浩 猿渡 英美	手術日
	難聴外来	(14:00~17:00)				
放射線科	放射線治療	加治屋 芳樹	加治屋 芳樹	加治屋 芳樹	加治屋 芳樹	加治屋 芳樹
	画像診断	日野 祐一	日野 祐一	日野 祐一	日野 祐一	日野 祐一
歯科口腔外科	一般	田畑 雅士 新屋 俊明	田畑 雅士 新屋 俊明	田畑 雅士 新屋 俊明	田畑 雅士 新屋 俊明	手術日
	ペインクリニック					横山 幸三 (終日・手術/外来不定期)
	障がい者歯科					森主 宜延 (月2回)
がんサポート外来						岩崎 竜馬
緩和ケア外来						林 章敏 (第四金曜日)
特殊外来		マザークラス (第二土曜日・第四月曜日)	リンパ浮腫外来 フットケア外来	助産師相談室 (午後)	リンパ浮腫外来 P I C C 外来 (午後)	ストーマ外来(午後) 母乳外来 遺伝カウンセリング外来 (14:00~15:00)

※1 全診療科初診予約制となりますので、事前に診療FAX連絡票にてご連絡頂きますようお願いいたします。

※2 医療機関の方へ：血液内科、リウマチ科の初診については、事前に初診紹介予約申込書と共に、最新の血液データを送ってください。

【地域医療連携室・がん相談支援センター】フリーダイヤル (0120) 411-329 FAX (0986) 26-1893

独立行政法人
国立病院機構

都城医療センター

(地域がん診療連携拠点病院・
地域周産期母子医療センター)

〒885-0014 宮崎県都城市祝吉町5033番地1

TEL/0986-23-4111(代表) FAX/0986-24-3864

E-mail/621-miyakonojo@mail.hosp.go.jp http://www.nho-miyakon.jp

編集発行：広報委員会